



ガスバーナーを採用した都市型アスファルトプラント(ABD1600)

日工株式会社

平成26年3月期 第2四半期 決算説明資料

平成25年4月1日～平成25年9月30日





平成26年3月期 第2四半期 決算説明資料

- ▶ 3P…主要財務指標
- ▶ 4P…売上高と営業利益の推移
- ▶ 5P…セグメント別売上高・営業利益
- ▶ 6P-9P…連結業績の詳細
- ▶ 10P…経常利益増減要因分析
- ▶ 11P…財政状態の分析
- ▶ 12P…平成26年3月期業績予想
- ▶ 13P…株主還元配当金【過去10ヵ年】
- ▶ 14P…海外事業の現況
- ▶ 15P…子会社の現況



宮城県で稼働中のアスファルトプラント ユーロAP



平成26年3月期 第2四半期 主要財務指標 [連結]

業績の状況

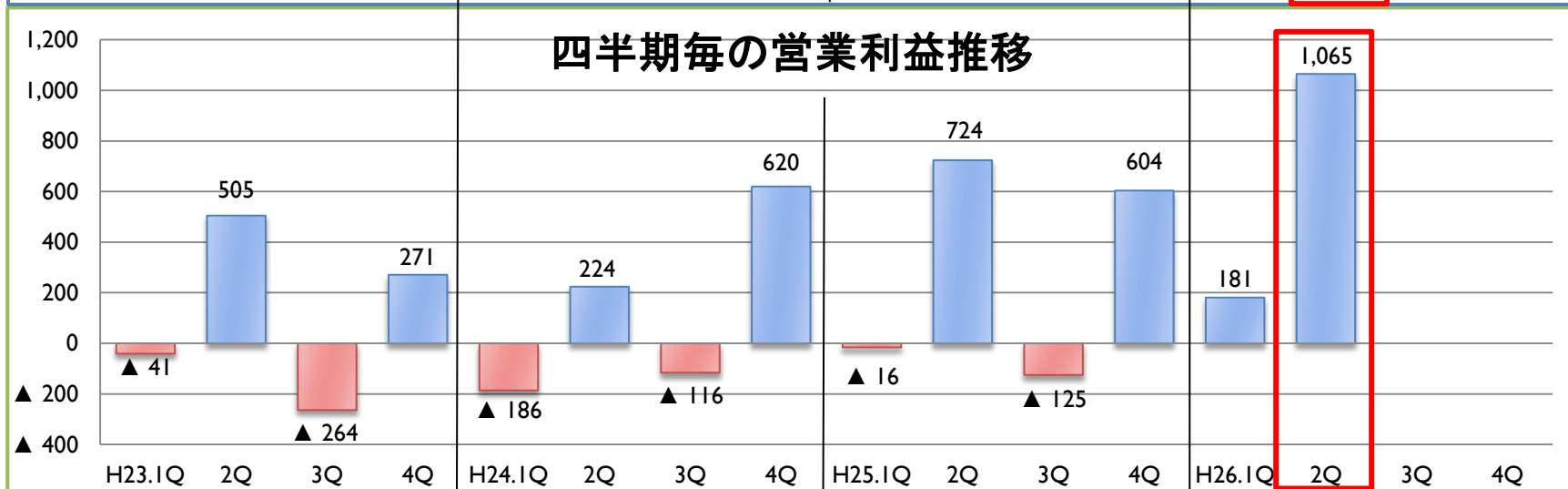
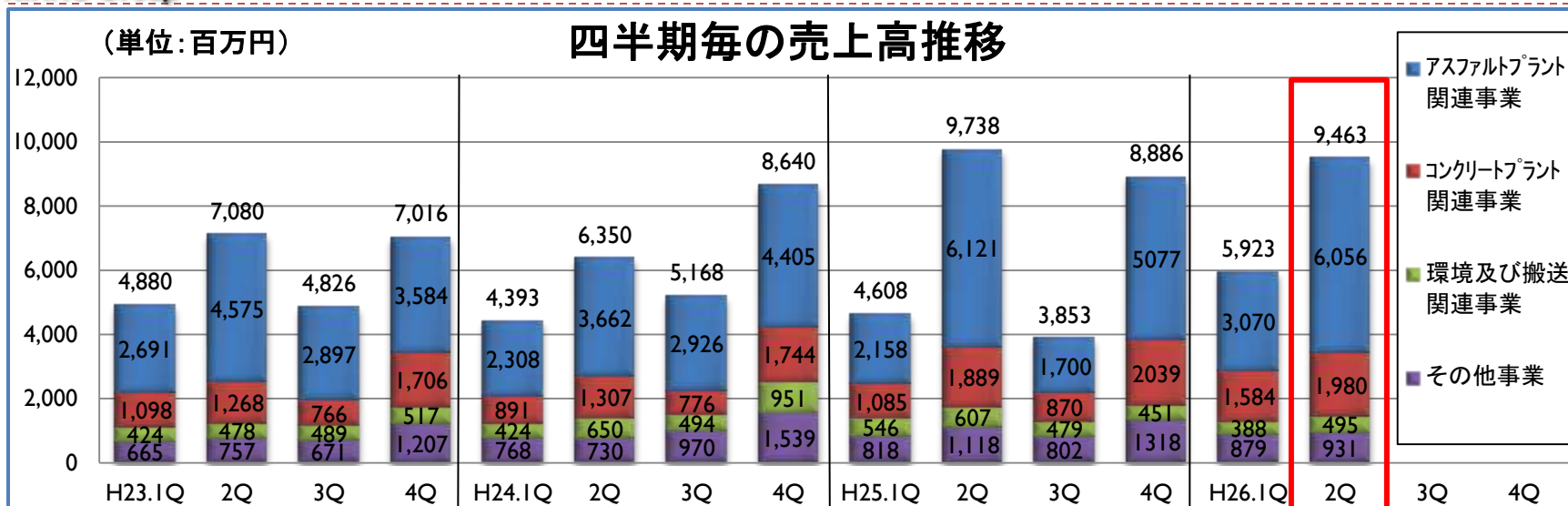
震災復興需要に加え、政府が掲げる国土強靱化政策により、全国的に公共工事が増加し、また首都圏を中心に民間建設需要も増大したため、売上高及び各利益ともに増加。

(百万円)	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	前期比	25年3月期 通期実績	※26年3月期 通期予想
売上高	14,346	15,386	+1,040 (+7.2%)	27,087	30,500
営業利益	707	1,246	+538 (+76.1%)	1,186	2,000
経常利益	533	1,276	+743 (+139.2%)	1,108	1,800
四半期純利益	299	688	+388 (+129.7%)	881	950

※26年3月期通期予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月30日に業績予想を修正いたしました。



平成26年3月期 第2四半期 売上高と営業利益の推移



平成26年3月期 第2四半期 セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益			売上高	営業利益
	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	前期比	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	前期比	平成25年3月期 通期実績	
■ アスファルトプラント 関連事業	8,280	9,127	+846 (+10.2%)	727	1,352	+624 (+85.9%)	15,054	1,492
■ コンクリートプラント 関連事業	2,975	3,564	+589 (+19.8%)	201	279	+77 (+38.5%)	5,889	317
■ 環境及び搬送 関連事業	1,153	883	▲270 (▲ 23.4%)	148	69	▲79 (▲ 53.4%)	2,085	250
■ その他事業	1,937	1,811	▲125 (▲ 6.5%)	78	101	+23 (+29.9%)	4,058	59
■ 全社費用	-	-	-	▲ 448	▲ 556	-	-	▲ 933
■ 合計	14,346	15,386	+1,040 (+7.2%)	707	1,246	+538 (+76.1%)	27,087	1,186

アスファルトプラント関連事業



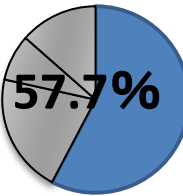
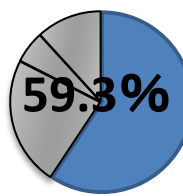
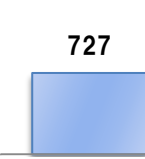

●セグメントの概要

アスファルトプラントの製造・販売。販売先は主に国内の大手道路会社、及び海外各地区道路会社等。アスファルトプラントのメンテナンスサービス。

●販売及びメンテナンスサービスが好調

国内市場は震災復興需要に加え、全国的に公共工事への期待感とプロジェクト工事に対する期待から、引き続きユーザーの設備投資意欲は旺盛で製品販売及びメンテナンス工事ともに増加。海外市場においても円安効果で日本からの製品輸出が大幅に増加。

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	前期比
売上高	8,280 	9,127 	+846 (+10.2%)
構成比率	57.7% 	59.3% 	+1.6%
営業利益	727 	1,352 	+624 (+85.9%)
営業利益率	8.8%	14.8%	+6.0%

【アスファルトプラント
/東京都町田市】

排熱再利用可能バーナ等の採用により、周辺環境に最大限配慮した省エネルギー型の最新鋭アスファルトプラントです。

【アスファルトプラント
/福島県南相馬市】

災害復旧に活躍しているアスファルトプラントです。瞬発力、リサイクル対応などマルチにこなす当社の代表的な機種です。



コンクリートプラント関連事業

●セグメントの概要

コンクリートプラント及びコンクリートポンプ車の製造販売。販売先は主に国内の生コン工場。コンクリートプラントのメンテナンスサービス。



【コンクリートプラント
/岩手県下閉伊郡岩泉町】

震災復興工事への生コン供給不足に対応する為、建設された地元期待の製造能力100バッチ/hの最新鋭瞬間発力コンクリートプラントです。



【コンクリートポンプ車】

新開発のゲートバルブを搭載し、幅広いコンクリートに対し優れた圧送能力を発揮している最新鋭コンクリートポンプ車です。震災復興工事を始め全国各地の土木・建設工事で大活躍しております。

●製品販売が伸長

震災復興需要が本格化してきたのに加え、全国的に公共工事が増大。ユーザーの設備投資に対するスタンスが前向きになってきたことから特に製品販売が伸長。コンクリートポンプについては製品販売及び消耗部品の販売ともに前年同四半期並み。

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	前期比
売上高	2,975	3,564	+589 (+19.8%)
構成比率	20.7%	23.2%	+2.4%
営業利益	201	279	+77 (+38.5%)
営業利益率	6.8%	7.8%	+1.1%



NIKKO Group

連結業績の詳細

環境及び搬送関連事業

●セグメントの概要

ベルトコンベヤの製造・販売。空き缶・ペットボトル選別装置等の環境関連製品の製造・販売。

●がれき処理用コンベヤの販売が減少

環境製品については大型製品の販売がなかったことから売上高が減少。搬送製品については今年度は震災復興向け製品の売上が剥落したことから売上が減少。

(単位：百万円)



【環境及び搬送関連事業製品】

環境リサイクル業界にも「飲料容器再資源化システム」「レアメタル抽出装置」「焼却灰処理プラント」等、リサイクルシステム製品を提供しています。
また、ベルトコンベヤの製造を開始して半世紀にわたって培われた技術で、あらゆる業界の多種多様な生産・搬送ラインで採用されています。

写真は宮城県南三陸町で活躍中の震災がれき処理のためのコンベヤです。



	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	前期比
売上高	1,153	883	▲269 (▲ 23.4%)
構成比率	8.0%	5.7%	▲ 2.3%
営業利益	148	69	▲ 79 (▲ 53.4%)
営業利益率	12.8%	7.8%	▲ 5.0%



NIKKO Group

連結業績の詳細 その他事業

●セグメントの概要

仮設機材、ショベル等土農工具、水門、破碎機等の製造・販売。

●仮設機材製品の販売が好調

仮設機材製品については活発な公共工事、民間建築を背景に引き続き堅調に推移。ショベル等土農工具製品については円安効果により海外向け販売が増加。

(単位：百万円)

【傾斜用安全昇降システム】

連結子会社 日エセック㈱

先行手摺工法「ウルトラセフティ」、アルミ自在階段「ラクラクタラップ」、アルミ製移動式室内足場「ラクラク台」は、革新的な安全機材として普及・定着してきています。

【タウンガードシリーズ】

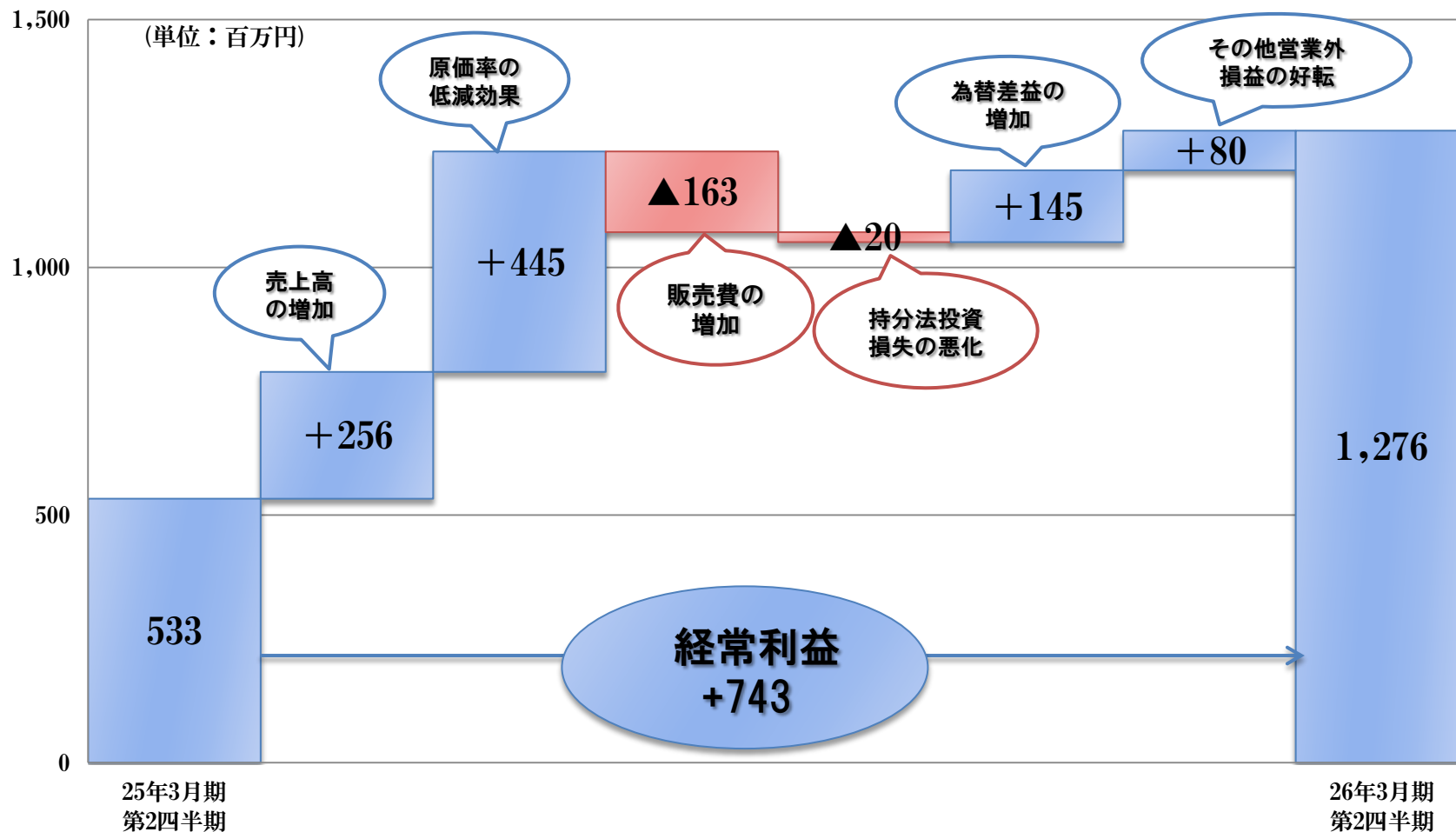
連結子会社 日エマシナリー㈱

システム防水板「タウンガードシリーズ」は、ゲリラ豪雨、台風による洪水又は地震による津波などの水害から、人と街を守る製品として、多くの公共施設、民間施設で採用されています。写真は阪急梅田駅にて設置されている防水板です。

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	前期比
売上高	1,937	1,811	▲126 (▲6.5%)
構成比率	13.5%	11.8%	▲1.7%
営業利益	78	101	+23 (+29.9%)
営業利益率	4.0%	5.6%	+1.6%

平成26年3月期 第2四半期

【連結】経常利益 増減要因分析





平成26年3月期 第2四半期

【連結】財政状態の分析

(単位:百万円)

連結貸借対照表		平成25年3月期	平成26年3月期 第2四半期	前期末比	主な変動要因
資産	流動資産	23,274	24,214	+940	受取手形及び売掛金+534 たな卸資産+485
	有形固定資産	3,532	3,740	+207	建物及び構築物+228
	無形固定資産	131	115	▲15	投資有価証券+857
	投資その他	10,340	10,949	+609	出資金+151 繰延税金資産▲369
総資産合計		37,278	39,020	+1,742	

負債	流動負債	10,175	10,452	+277	支払手形及び買掛金+159 短期借入金▲722 未払法人税等+144
	固定負債	2,750	2,674	▲75	未払金+499 その他+231
純資産合計		24,353	25,894	+1,540	四半期純利益+688 その他有価証券評価差額金+609 為替換算調整勘定+411 配当金▲167
自己資本比率(%)		65.3	66.4	+1.0	
D/E レシオ(倍)		0.12	0.09	▲0.03	
1株当たり純資産(円 銭)		580.88	617.69	+36.81	



NIKKO Group

平成26年3月期 業績予想

修正の理由

公共工事・民間建設共に活況を呈する中、アスファルト関連及びコンクリート関連の販売、サービスが想定以上に伸長したため、売上高・各利益ともに下記の通り修正。

(百万円)

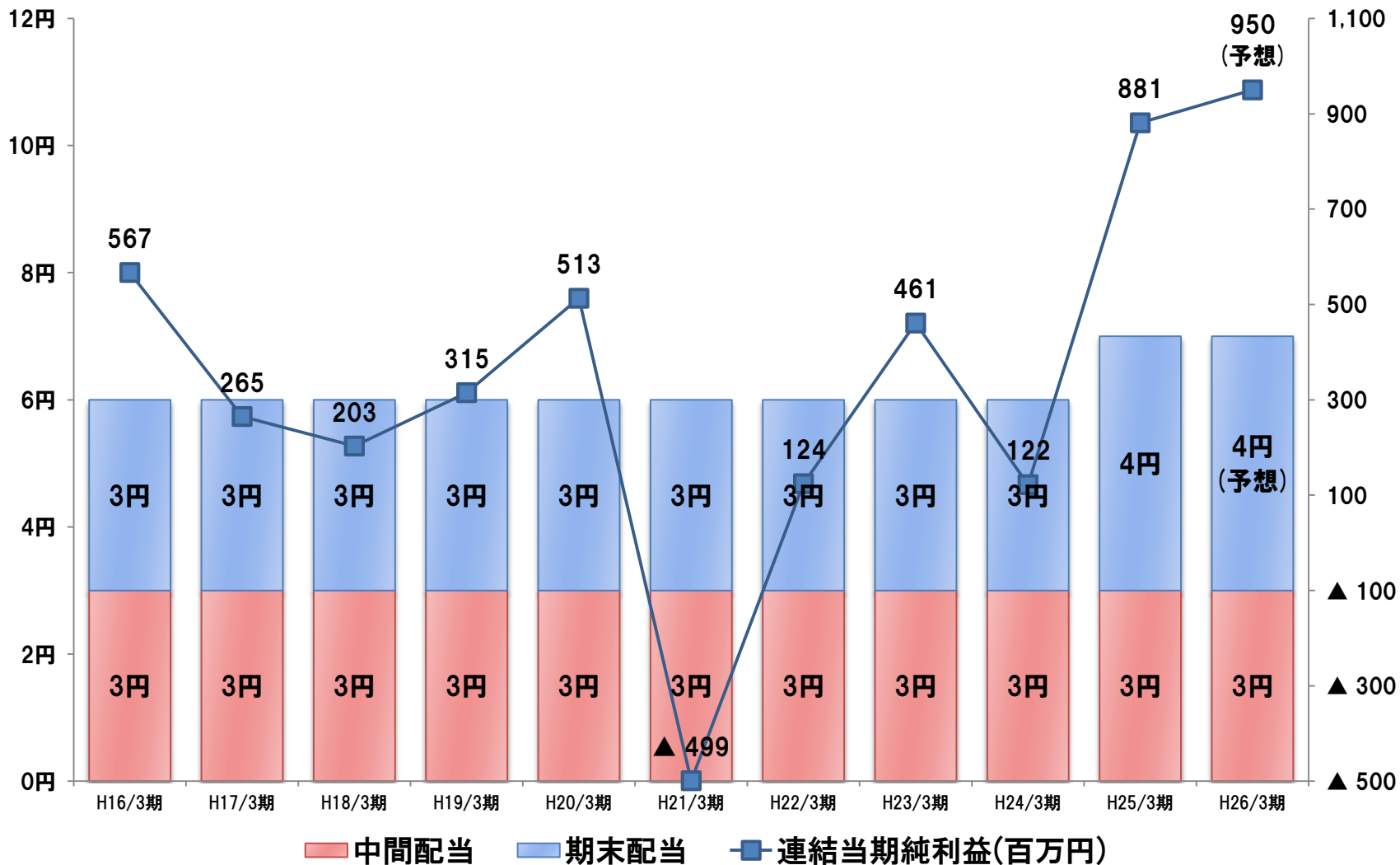
通期業績予想		平成25年3月期 通期実績	平成26年3月期 当初見込み		平成26年3月期 修正後見込み	業績見込み修正後 前期比増加率
売上高	上期	14,346	14,000	→	15,300	+6.6%
	通期	27,087	28,000	→	30,500	+12.6%
営業利益	上期	707	600	→	1,240	+75.4%
	通期	1,186	1,200	→	2,000	+68.6%
経常利益	上期	533	600	→	1,270	+138.3%
	通期	1,108	1,100	→	1,800	+62.5%
当期純利益	上期	299	300	→	680	+127.4%
	通期	881	600	→	950	+7.8%
		円 銭	円 銭		円 銭	円 銭
1株当たり 当期純利益	上期	7.15	7.15	→	16.22	+9.07
	通期	21.01	14.30	→	22.66	+1.65

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、さまざまな要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知頂きます様お願いいたします。



NIKKO Group

株主還元 配当金【過去10力年】



海外事業の現況



日工の製品は日本だけでなく、世界中で使われており、海外拠点、パートナー企業も多く存在します。



日工(上海)工程机械有限公司

アスファルトプラント、リサイクルプラント、
合材サイロ、パッチャープラントの
製造販売拠点



Benninghoven GmbH(出資会社)

ドイツを中心にEU等に躍進。
EUのアスファルトプラントTOPメーカー。



山推楚天工程机械有限公司(合併会社)

コンクリートポンプ車、ミキサー車などの車両、機械の
製造販売拠点



海外営業部 台北支店

多くのお客様を持つ台湾の
販売・サービスの拠点



日工(上海)工程机械有限公司

・売上高:745百万円
(平成25年1月~6月)
・出資比率:100%



Benninghoven GmbH(出資会社)

・売上高:5,428百万円
(平成24年7月~12月)
・出資比率:30.0%



山推楚天工程机械有限公司(合併会社)

・売上高:3,342百万円
(平成25年1月~6月)
・出資比率:18.2%



台北支店

・売上高:9百万円
(平成25年4月~9月)

連結子会社の現況



▶ 日工(上海)工程机械有限公司

製造販売の拠点として現地法人を設置

| アスファルトプラント | リサイクルプラント | 合材サイロ |
| 生コンクリートプラント |



▶ 日工電子工業株式会社

プラント制御機器の製作で培った技術をあらゆる産業に

| アスファルトプラント、生コンクリートプラント操作盤 | 水分計 |
| 動力盤 | 監視システム |



▶ 日工マシナリー株式会社

水門、防水板で暮らしの安全を守る

| 水門 | 建設機械部品 | 防水板 |



▶ トンボ工業株式会社

海外マーケットでも高い評価のトンボ印ショベル、スコップ

| ショベル | スコップ | 土農工具 | 小型コンクリートミキサ |
| モルタルミキサ | ガーデニング用品 |



▶ 日工セック株式会社

建設作業の安全性と効率化を実現

| パイプサポート | パイプ枠組足場 | 足場整備機械 |
| 鋼板製道板 | レンタル、リース |

本社全景



▶ 株式会社前川工業所

「壊さないと始まらない。壊すことから始めます。」破砕機、振動篩の専門メーカー

| 各種破砕機 | 篩分け機 | 破砕プラント |



▶ リフォームショップ絆

(旧工業産株式会社)

健康で安全な暮らし...兵庫県明石市、神戸市を中心に、リフォームとそのサービスを提供

| リフォーム業 | 人材派遣 | 保険代理店業 | 宅地建物取引業 |



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。